

高血圧

腎小児の高血圧は、成人の高血圧と比べて無症状であることが多いですが、頭痛、めまい、嘔吐、稀に痙攣や意識障害を認めます。

高血圧の基準も年齢によって異なります。

小児の年齢別、性別高血圧基準値

	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)
幼児	≥120	≥70
小学校 低学年	≥130	≥80
高学年	≥135	≥80
中学校 男子	≥140	≥85
女子	≥135	≥80
高等学校	≥140	≥85

高血圧治療ガイドライン 2019 より引用

成人の原因は①本態性高血圧（原因が明らかではない）②肥満などが多いですが、小児（小学生以下）では、①様々な原因による血管収縮、②腎臓での塩分調節の異常、③心臓病など、何か原因がある（二次性）ことが多いです。

本態性の場合、一般的な降圧薬（血圧を下げるお薬）で治療を行います。二次性の場合、可能であれば原因の治療を行います。

<血圧測定の注意点>

マジックテープで腕に巻く（マンシエット）幅と腕の長さにより血圧値が異なります。

ご家庭にある成人用で測定すると実際より低くなるため注意してください。

泣いたり、暴れたりすると高い数値になりますので、できるだけ安静時の値を測定してください。

* マンシエット幅は上腕の長さの 2/3 を目安にサイズを選択します。

